

なわて BOOKS【2021年12月号】

今月も恵文社一乗寺店の藤林さんが、季節にあった素敵な絵本の選書をして下さいました。「クリスマス」シーズンにオススメの今月の2冊はこちらです。

『サンタクロースのふくろのなか』 作・絵：安野 光雅 出版社：童話屋



もしサンタクロースの袋の中をのぞいたら？そんな発想から繰り広げられる、安野光雅さんの美しい絵本です。楽隊が歩き、おさはタンバリンをたたき、サーカスは繰り出し、船は帆をあげます。ページを追うごとに、トラにコンドルに車に花火なんかも登場し、どんどんどんどん絵はふくれあがり、「かさね歌」ならぬ「かさね絵」のごとく、最後は白い余白が見えないくらいの大にぎわいとなります。

『もみのき そのみを かざりなさい』 作：五味 太郎 出版社：アノニマ・スタジオ



クリスマスイブの日、いろいろな場所で、さまざまなものがクリスマスをむかえる準備をしています。「ほしめざめなさい」「いえたびにでなさい」など、短い一文が可愛らしい絵に添えられています。「ろうそくゆれなさい」「くつしたまちなさい」などだんだんクリスマスの夜に近づいてゆき、最後は「あしたほがらかにめざめなさい」と、女の子が眠る場面で終わります。華やかな祭日、というよりもクリスマスの前夜の静けさを描いた一冊。静かですが、五味さんのやわらかな絵と相まって不思議なぬくもりを感じます。

【なわて BOOKS】

毎月、京都の恵文社一乗寺店さんからなわて幼稚園の図書室に届く、スタッフがお薦めする最新の絵本や話題の絵本をご紹介します。

【恵文社一乗寺店】

2010年にイギリスのガーディアン紙が発表した「世界でもっとも素晴らしい書店10選」に日本から唯一選ばれた京都・一乗寺にある書店。

<http://www.keibunsha-books.com/>